

拠点名称：ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点

代表機関	東北大学	プロジェクトリーダー	近藤 倫生 東北大学 大学院生命科学研究科 教授
参画機関	公益社団法人かずさDNA研究所、京都大学、筑波大学、東邦大学、北海道大学、海洋研究開発機構、国立環境研究所、東京大学、琉球大学 認定NPO法人アースウォッチ・ジャパン、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン、株式会社佐久、一般社団法人サステナビリティセンター、ジャパンブルーエコミー技術研究組合、東北緑化環境保全株式会社、公益社団法人日本山岳会、日本郵船株式会社、神奈川県環境科学センター、南三陸町、アマタホールディングス株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、M S & A Dインシュアランスグループホールディングス株式会社、株式会社KDDI総合研究所、日本生命保険相互会社、日本電気株式会社、パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社		

プロジェクトの概要

豊かな自然や生物多様性の回復は、人々のウェルビーイングの実現や、社会の持続的発展に不可欠なグローバル課題であると同時に、地域振興やビジネスとも密接に関わる複合的課題である。

本拠点は、最も根本的な資本である「自然」を適切に社会・経済活動に組み込むことで、社会と自然が互いを支え合いつつ発展する「ネイチャーポジティブ発展社会」を構築し、これらの自然関連課題を高いレベルで同時に解決することをミッションとする。私たちは本拠点を、この高い理想の実現に向けて産学官民が連携し「共創する場」として位置付け、その達成のため **(1) 自然の価値を持続的に高め、その価値を可視化する、(2) ネイチャーポジティブな事業や活動に向けてお金が流れる仕組みを創出する、そして(3) ネイチャーポジティブ発展社会を支える人材を育てる、**という3つのターゲットの実現を目指す。

本拠点が、将来に渡り、あらゆる地域の多様な主体によるネイチャーポジティブ取り組みを支え、ハブとして機能する社会共通インフラとしての役割を果たしていくため、生物多様性課題解決に向けた新事業・ビジネスを創出する「生物多様性のシリコンバレー」として、自らも成長・発展し、ネイチャーポジティブ成長を安定的に支える経済的自律性を確立する。

ビジョン 人と自然が育み合うネイチャーポジティブ発展社会実現拠点

生物多様性の損失を食い止め、自然資本を回復に転じさせる国際目標

